

地域で支えあい、安心して暮らせるまちに



9月28日(土)に町民会館において、町社会福祉協議会の主催で養老町制施行70周年記念 第25回養老町社会福祉大会が開催されました。社会福祉向上に対する功労者を表彰するとともに、福祉活動の充実を図り、互いを気遣い・支え合うことができる地域社会を実現するために、地域と連携・協働して、交流を深める場所や環境の整備などを進めていくことが大切だと再確認しました。

小久保晴代氏による「介護予防・認知症予防として、何をすべきか！～快適な日々を送るために～」をテーマとした記念講演も開催され、参加者は一緒に体を動かしたり、メモを取りながら快適な日々を送るための心構えなどを学びました。

ペタンクで得る健康と親交



9月22日(日)に町中央公園多目的広場にて、県ペタンク協会と町ペタンク協会の主催で養老オープンペタンク大会が開催されました。この大会は、来年の10月18日(土)より養老町で開催が予定されている第37回全国健康福祉祭ぎふ大会「ねりんピック岐阜2025」ペタンク交流大会のりハーサルも兼ねて開催されました。

東海や関西地方の43チーム(1チーム3人編成)が出場し、予選リーグと決勝トーナメントによって順位を決めました。チームがそれぞれに心をひとつにして戦略を練り、白熱した試合を繰り広げ、参加者は爽やかな汗を流しながら、ペタンクをとおして親交を深めました。

ご長寿おめでとうございます



酒井ミヨノさん(大場)が100歳の誕生日を迎えられ、10月9日(水)に川地憲元町長から長寿のお祝い状とお祝い金が増呈されました。

酒井さんは社交的で、人と関わるのが好きのため、少し前まではカラオケや旅行などの老人会活動に積極的に参加して楽しんでいました。

また、食べることが好きで、嫌いな食べものは特になく、なんでも食べるそうです。大好物はチョコレートで、食べると幸せいっぱいの笑顔を見せてくれるそうです。



安田絹さん(船附)が100歳の誕生日を迎えられ、10月2日(水)に川地憲元町長から長寿のお祝い状とお祝い金が増呈されました。

安田さんは、優しい家族に囲まれて毎日を過ごしていて、おうちが大好きなのだそうです。食事は好き嫌いをせずになんでも食べ、健康のためにお宮さんまで歩き、お参りすることを毎日の日課としているそうです。

茶道、華道、俳句など多趣味で、俳句については最近まで教えていたそうで、今回の訪問では【鶯や 家族の愛に 百寿なり】と素敵な句を詠んでくれました。